

# 市長とのかがやきライフトーク

## 【大垣市男女共同参画推進連絡協議会】

と き / 令和元年6月22日（土）11：30～12：30

ところ / 大垣市スイトピアセンター学習館3階・学習室3-3

参加者 / 13人

### 【大垣市男女共同参画推進連絡協議会（コーディネーター）】

今回は、「令和ハートリンクフェス」の開催に合わせて、大垣市男女共同参画推進連絡協議会の呼びかけにより、市内で活動している女性の皆様と市長が意見交換を行います。

各団体から、活動する上での楽しさ、力になること、課題、市への問題提起などを伺いたいと思います。



### 【（一社）岐阜県助産師会西濃地区】

助産師職能団体の地区理事として出席しています。団体としては定期的に相談を実施しているほか、個人的には、出張開業助産師として自宅訪問の形で授乳指導をはじめとした子育て支援全般を行っています。高齢出産等の背景により、ここ5～6年で、祖父母や地域の育児への支援が難しい家庭が増えたと感じます。また、ファミリーサポートセンター事業についても、利用者のニーズとのズレがあると感じます。市子育て世代包括支援センターの開設を機に、開業助産師とより連携をとっていただけると、母親にとってよりよい子育て環境づくりができると思います。

また、子育ては母親だけが頑張るのではなく、父親も含めた地域みんなで子育てをすることで市全体が元気になると考えます。そのための包括支援事業ではないでしょうか。

西濃圏域の出産取扱医療施設にも会員の助産師は勤務していますが、以前のようにお産を扱う助産所が西濃地域にはなくなり、乳房ケアを中心とする開業助産所ばかりです。

妊娠・出産・育児と継続的な支援の提供を考えると、産後ケア・産前産後サポート事業に専門職である助産師の活用と開業助産師との連携を望みます。

## 【産前産後ケアあつぷる】

医療従事者等による産後ケアなどのイベント・講座を実施しています。現在の妊婦支援は出産がゴールになっています。産後は乳幼児への支援にシフトしてしまい、母親への十分な産後ケアがないため、母親は心身不安定から産後うつを発症し、虐待等の多くの問題につながっています。産後の身体を整えることにより、心身の安定や将来の介護予防にもつながります。滋賀県長浜市では、産後ケア事業が市の委託事業となっており、市、委託事業者及び医療機関が定期的に会議等で情報共有し、母親への適切な支援を行っています。本市でもこうした事業をいずれ取り入れていただくようご検討をお願いします。

## 【ママビズ】

働く意欲のある女性や社会復帰をめざす母親と企業とをつなぐ事業を実施しています。市内企業には、活躍して輝いている女性がたくさんいます。これらの方を応援し、PRする方法として、県内で活躍している女性を支援する組織・サイトとして、県ポータルサイト「ぎふジョ！」があるが、これの大垣版として「がきジョ」や、女性に限らず、活躍する男性を応援する「がきダン」などをつくるとよいのではないかと考えています。

また一方で、各家庭のあり方が重要だと考えており、PTAの家庭教育学級で、コミュニケーション出前講座などを実施しています。今後は、母親支援だけでなく、家庭内での様々な課題（DV、虐待、多児育児、シングル子育て、孫育て、自殺防止など）への支援を目的としたイベントやセミナーを予定しています。さらに、幸せな家庭の基盤をつくるために、独身を対象とした「婚前研修」を実施することで、問題を未然に防ぐことができると考えています。あたたかい社会で、子どもたちがすくすくと育つ大垣市になることを期待しています。

## 【大垣市男女共同参画推進連絡協議会（コーディネーター）】

現在、多くの企業にとっても課題になっていますね。また「婚前研修」はいいですね。児童虐待など、現在増えている問題を防ぐ一助になりそうですね。

## 【市長】

昔は大家族だったので、コミュニケーション能力も自然と培われるし、お互いがガス抜きの役割を担っていたのでしょね。また「婚前研修」で、ぜひ結婚に夢を持っていたきたいですね。子育ての大切さはもとより、子育ての楽しさも知っていただきたいと思います。

### 【上石津ふぁん 365】

上石津は自然豊かな地域である一方、少子高齢化による問題にも直面しています。そこで、この地域を自然体験、異文化交流などの拠点にしたいと考え、昨年当会を立ち上げました。フレッシュハーブを活用した入浴剤づくりや親子料理教室などを通じてコミュニケーションの機会を創出しています。今後は、こうした活動を市内外に広げていくとともに、地元のアンテナショップで販売体験などを実施する計画もあります。我々は小さい団体なので、活動の告知の機会が少ないため、市でそうした機会をつくっていただければと思います。

### 【市長】

もんでこかみいしづや元気ハツラツ市などの機会をぜひご利用いただければと思います。

### 【大垣市男女共同参画推進連絡協議会（コーディネーター）】

上石津地域の活動は、地域資源をうまく活用している例ですね。また、上石津地域は、移住定住のプロジェクトも盛んで、キーマンになりそうな方がいらっしゃいますね。

### 【いき粋墨俣創生プロジェクト】

一夜城、さくらなどの地域資源を活かし、脇本陣を拠点とした活動を実施しています。メインとなる「つりびな小町めぐり」事業について、10年以上も継続実施できているのは、行政や観光協会の補助金などでご支援いただいたお陰であるとともに、イメージキャラクター、イメージダンス、ホームページ、マップ、景観かるたなど、新たな取り組みを実施することで、イベントを毎年よりよいものにしようと努力を続けています。また、会報を作成し、地元住民への情報発信の工夫をしています。墨俣も空き店舗、空き家が目立ちます。今後、こうした課題への取り組みについてアドバイスをいただければと思います。

### 【市長】

日頃より良く活動していただいております。つりびなは、全国に広がっている印象があり、やはり良い企画は真似されますね。桜はどうしても短い期間ですが、つりびなは長い期間お楽しみいただけます。さらに、まちの中に回遊性があります。



### 【大垣市男女共同参画推進連絡協議会（コーディネーター）】

こちらの団体は、行政の補助金や様々な支援を上手に取り入れていらっしゃいます。こうした取り組みがまち全体に広がっていき、今回「地域再生大賞 優秀賞（一般社団法人 共同通信社）」を受賞されたわけです。新しい団体の皆様には、こうした、地域全体を上手にまきこむ方法を、是非参考にさせていただきたいですね。

### 【かがやきクラブ大垣女性部】

手作り作品や友愛活動、詐欺被害防止の学習などを実施しています。来年実施されるねりんピックでは、参加者への記念品作成を予定しています。高齢者の方が誰しも持つ健康や認知症への不安に対応するため、身近な生活の中で体を動かす経験や、人とのコミュニケーション活動で社会との関わりを持つことが、当クラブ活動の一番の目的です。

しかし、現在は、加入者の減少が課題となっています。年齢に達した市民に対し、かがやきクラブ加入の文書案内を市から送っていただくなど、ご協力をお願いしたいと思います。また、当クラブは自治会との連携が非常に大切であり、ぜひ自治会からの後押しもお願いしたいと思います。

### 【市長】

年金支給開始が 65 歳になり、60 代の対象年齢の方も働いている人が多いですから、なかなかクラブ活動が難しい人も多いでしょうね。

### 【かがやきクラブ大垣女性部】

70 歳を過ぎてから、やっと加入を検討する人がほとんどです。

### 【大垣市男女共同参画推進連絡協議会（コーディネーター）】

自治会の理解も重要ということですね。

### 【清流の国ぎふ女性防災士会】

防災も多様性が求められる時代です。我々は女性目線で「暮らしの中から始める防災」を推進しています。講座をやってほしいという声をいただきますが、現在、子育て支援センターや公民館で防災メニューの出前講座を実施できないので残念に感じています。

### 【市長】

ハートリンクでは防災の講座はあまりやっていませんか。

### 【大垣市男女共同参画推進連絡協議会（コーディネーター）】

各団体が実施しています。今後、従来の組織だけでなく、新たな団体の取り組みを市の事業に取り入れていく方法について、検討していけるといいですね。

### 【NPO法人クローバ！】

今年度、ハートリンクおおがきと連携し「大垣スタートアップ」事業として、起業について学ぶだけでなく、発表する場、さらに活動する場を提供する事業を予定しています。

また、県の子育て起業コンシェルジュとして、年数会、県の移住担当者とともに関西等で移住イベントに参加することがあります。その際に、大垣で子育てするメリットを聞かれるため、名古屋への利便性、医療費助成、公園整備などをPRさせていただいています。こうしたPRに際し、行政のHPが、画像・写真・イラストを活用し、移住者に見やすく楽しいものであると良いと思います。

### 【市長】

お役所の文章になってしまっているということですね。

### 【はあとのおと】

女性はライフイベントが立て続けにやってきますが、どの局面でも「一人にしない」ことが大切だと考えています。特に、産前産後の支援に取り組んでいきたいと思っています。

昨年、ハートリンクおおがきの講座を受講しました。その際の受講生が、本年度も引き続き集まり、進捗状況を共有し、共に考えるワークショップを実施しています。1年後に結果を振り返り、また新たな目標を掲げることを繰り返すことで、「目標を掲げて終わり」ではなく、達成し次に進んでいくことができると考えています。



### 【大垣市男女共同参画推進連絡協議会】

団体の活動PRの場として、大垣市男女共同参画推進連絡協議会への加入という方法があります。

当会は現在16団体が加入しています。1月の男女共同参画フォーラムをメインに、多岐にわたるテーマで分科会を実施しており、ほかの団体や行政とつながる機会となっています。こうした機会を上手に活用していただき、団体の次のステップにつなげていただければと思います。

### 【上石津ふぁん 365】

上石津地域が週末の観光拠点になるように活動をしています。来訪者の皆さんに渡せるように、大垣の四季を通じたイベント、レジャーが掲載されている、総合的な観光マップを作成していただければと思います。

### 【市長】

人の関心のある分野は実に多種多様で、城、アニメスポット、歴史、俳句など、一つに集約するのはなかなか難しいものです。ただ、それだけいろいろあるということも、本市の魅力とも言えますね。

### 【大垣市男女共同参画推進連絡協議会（コーディネーター）】

本年度の男女共同参画週間ポスターにもあるように、いろいろな人と交流し「学」びあう、教えあう、育ちあう、さらに支えあう、こうした活動が基本にあり、その楽しさを、活動しながら感じていただきたい。女性が活躍しているまちは元気なまちです。

### 【市長】

墨俣地域は女性が活躍しているので、人口がどんどん増えていますね。

行政においても、いろいろな課題に対応する上で、どうしても男目線になっているところがあります。防災の避難所運営は最たるものです。雇用制度についても、まだまだ男性前提の制度です。皆さんには、今後もハートリンクを活用していただき、ご意見を行政に届けていただきたいと思います。

結婚は、女性にとって男性以上に大きな決断となります。それは結婚後の仕事の展望を男性以上に考えなければならないからです。今後は、男女共同参画社会のさらなる推進として、女性も、結婚の先に当然仕事と子育てがある人生となるように、我々が努力しなければなりません。そのために、今後ともご意見をお聞かせ願いたいと思います。